

施工条件明示事項書

工事番号: R8-47

工事名: 日向市駅周辺地区 築造工事(その1)

担当課: 市街地整備課

◇ 注意事項 ◇

1. 当該工事の施工条件明示事項は、各シート表内のチェック部分が対象となります。
ただし、明示されているものは特に必要なものであり、全てに対して明示されているものではありません。
2. 「明示されない施工条件」や「明示事項が不明確な施工条件」がある場合については、
契約約款の関連する条項に基づき、甲・乙協議により適切に対応してください。

日 向 市

明 示 項 目

項目（シート名）	該当有無	明 示 事 項
①工程関係(1)	☒	1. 影響を受ける他の工事
	☒	2. 自然的・社会的条件で制約を受ける施工の内容、時期、時間及び工法等
	☐	3. 関連機関等との協議に未成立のものがある場合の制約等
②工程関係(2)	☐	4. 関係機関、自治体等との協議の結果、工程に影響を受ける特定条件
	☐	5. 余裕工期を設定した工事の着手時期
	☐	6. 地上物件・地下埋設物・埋蔵文化財等の事前調査・移設の制約
	☐	7. 設計工程上の作業不能日数
	☐	8. 現場条件による工法の制限の結果、工程に影響を受ける場合
③用地関係	☒	1. 工事用地等に未処理部分がある場合
	☐	2. 使用後の復旧条件がある場合
	☐	3. 工事用仮設道路、資機材置場等の用地を借地させる場合
	☐	4. 官有地等を使用させる場合
④公害関係	☒	1. 公害防止のため、施工方法、機械設備、作業時間等に制限がある場合
	☒	2. 水替、流入防止施設が必要な場合
	☒	3. 濁水、湧水等の処理で特別な対策を必要とする場合
	☒	4. 事業損失等、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合
	☒	5. 油漏れ等に対策を必要とする場合
⑤安全対策関係(1)	☒	1. 交通安全施設等の指定
	☒	2. 電気・ガス・電話施設等と近接する工事
	☐	3. 落石・土砂崩壊等危険要因に対する防護施設等
⑤安全対策関係(2)	☒	4. 保全設備・保安要員の配置等
	☐	5. 発破作業等の制限
	☐	6. 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策
	☐	7. 高所作業における対策
⑥工事用道路関係(1)	☐	1. 一般道路を搬入路として使用する場合
	☐	2. 仮道路を設置する場合
⑥工事用道路関係(2)	☒	3. 一般道路を交通規制等により占有する場合
	☒	4. 他の工事と工事用道路を共用する場合
	☐	5. 工事用道路の使用に制限がある場合
⑦仮設備関係	☐	1. 他の工事に引き渡す場合
	☐	2. 引き継いで使用する場合
	☐	3. 構造及び施工方法を指定する場合
	☐	4. 設計条件を指定する場合
⑧建設副産物関係(1)	☒	1. 建設発生土
	☒	2. 建設廃棄物の種類と発生量
	☐	3. 現場内での発生抑制・減量化・再利用の内容
	☐	4. 処理施設等への運搬経路・方法等の規制・制限
⑧建設副産物関係(2)	☐	5. 再資源化処理施設、中間・最終処理場の指定等
	☒	6. 再生資材等の利用
⑨工事支障物件関係	☐	1. 占有物件等の工事支障物件
	☐	2. 占有物件工事との重複施工
⑩薬液注入関係	☐	1. 薬液注入を行う場合
	☐	2. 周辺環境影響調査
⑪その他(1)	☐	1. 工事用資機材の保管及び仮置きが必要な場合
	☐	2. 工事現場発生品がある場合
	☐	3. 支給材料及び貸与品がある場合
	☐	4. 関係機関との近接協議
	☐	5. 架設工法を指定する場合
⑪その他(2)	☐	6. 新技術・新工法・特許工法を指定する場合
	☐	7. 部分使用を行う場合
	☐	8. 給水の必要のある場合
	☐	9. 現場の状況等から止むを得ず工事が休止状態となった場合
	☐	10. 特殊材料や特定使用材料がある場合
	☐	11. 工事連携会議の設置が必要な場合
	☐	12. 見積参考資料の明示

1. 工程関係（１）

明 示 事 項				対象の有無		特記仕様書
				対象 有	対象 無	
1 影響を受ける他の工事 ① 先に発注された工事で、当該工事の工程が影響を受ける工事の有無。 （影響を受ける工事の内容と、具体的制約内容、対象箇所およびその完成の時期や期間） ② 後から発注される予定の工事で、当該工事の工程が影響を受ける工事の有無。 （影響を受ける工事の内容と、具体的制約内容、対象箇所およびその完成の時期や期間） ③ その他、関連して当該工事の工程が影響を受ける他の工事の有無。 （影響を受ける工事の内容と、具体的制約内容、対象箇所およびその完成の時期や期間）				☒	☐	
他工事の名称	その発注者	影響を受ける箇所	影響を受ける期間			
R8-18 日向市駅周辺地区 舗装工事（その１）	日向市 市街地整備課	天神山通線				
	具体的制約内容			備考		
舗装工事						
2 自然的・社会的条件で制約を受ける施工の内容、時期、時間及び工法等 ① 交通規制や工事内容による、工事の施工期間又は時間帯の制約の有無。 （観光シーズン期の施工中止や、交通渋滞等を回避するための夜間施工等の検討） ② 出水期等においての、施工中止または休止する必要の有無。 （河川の出水期での施工等は要検討） ③ 漁業や農業・用排水の使用時期、地場産業の影響等による施工期間または時間帯の制約の有無。 ④ 自然環境の保全に関しての制約の有無。 （希少野生動植物種等の生息する可能性のある地域での施工制約）				☐	☒	
自然的・社会的要因	施工内容	施工箇所	施工時期	施工時間		
3 関連機関等との協議に未成立のものがある場合の制約等 ① 協議の成立時期が具体的に見込める。 （現在、協議中であることと、成立見込みの時期およびその制約される内容等） ② 協議の結果、工程等に制約を受けることが予想される。 （その協議内容および制約される内容等） ③ 協議の必要性はあるが、未実施である。 （関連機関、内容、協議実施予定者「発注者/受注者」）				☐	☒	
関連機関等	制約内容	協議内容	成立見込時期	備考		

2. 工程関係（２）

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書
4 関係機関、自治体等との協議の結果、工程に影響を受ける特定条件 ① 施工時期等について付された条件の有無。（具体的に） ② 当初予想し得ない事態等が発生し工事期間等の変更が生じる場合は、監督員に報告し、処理および対策についての協議を行うこと。					対象 有 ☐	対象 無 ☒ ☒	
機関・自治体名	影響項目	影響範囲・内容	規制期間	規制時間	備考		
5 余裕工期を設定した工事の着手時期 ① 全体工期とともに、余裕期間の完了年月日（実工事着手日の前日）と期間中は、資材の搬入および仮設物の設置等の工事を行ってはならないこと。					対象 有 ☐	対象 無 ☒	
全体工期	余裕期間	留意事項			備考		
6 地上物件・地下埋設物・埋蔵文化財等の事前調査・移設の制約 ① 必要な事前調査の期間等の明示及び、その管理者の都合により、変更がある場合には別途協議すること。 ② 特に移設や撤去・保存等が必要になり影響を受ける場合の、施工方法や工程等についての協議状況の有無。 ③ 埋蔵文化財については、施工に併せて発掘調査を実施する。 （発掘調査中は、完了時期を明示、施工と発掘調査を実施する場合は期間・内容）					対象 有 ☐ ☐ ☐	対象 無 ☒ ☒ ☒	
地下埋設物・埋蔵文化財の種類	地下埋設物・埋蔵文化財の管理者	事前調査・移設の期間		備考			
7 設計工程上の作業不能日数 ① トンネル内工事や工場製作工事以外では、雨天、強風、波浪による休止日数や休日等の日数の明示及びトンネル内工事での資機材等の搬出入についての影響の有無。					対象 有 ☐	対象 無 ☒	
総作業不能日数	休日日数	他の不能日数	内容		備考		
8 現場条件による工法の制限の結果、工程に影響を受ける場合 ① 工程に影響を与える特殊な工法の有無					対象 有 ☐	対象 無 ☒	
対象工種	場所	日数	内容		備考		

3. 用地関係

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書
					対象 有	対象 無	
1 工事用地等に未処理部分がある場合 ① 用地・立木の未取得の有無。 （場所、範囲、面積、工種及び確保の見込み時期等） ② 期日までに用地取得が可能。（出来ない場合の工事工程への配慮） ③ 保安林解除や未処理部分等に規制の有無。 （解除時期や未処理部分） ④ 官民境界が未確定部分の有無。 （当該区間及び協議状況）					☐	☒	
場所	範囲	面積	取得見込時期	該当工種	備考		
6-15号線							
2 使用後の復旧条件がある場合 ① 工事用地等の使用終了後の復旧条件の有無。 （復旧完了予定日とその内容を具体的に）					☐	☒	
場所	範囲	面積	復旧完了予定日	復旧条件	備考		
3 工事用仮設道路、資機材置場等の用地を借地させる場合 ① 工事用借地の有無。 場所、範囲、面積、工種、期間、使用条件、重要施設の有無、使用後の復旧方法等） ② 借地上に支障物件等の処置が必要になった場合は、監督員に報告し協議すること。					☐	☒	
場所	範囲	面積	期間	使用条件・復旧方法	備考		
4 官有地等を使用させる場合 ① 使用する土地の場所、範囲、面積、使用条件及び使用料の負担の有無。 ② 仮設ヤード周辺への立ち入り防止柵等設置の条件の有無。 ③ 現場状況等から使用条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。 ④ 造成が必要な荒地等を使用させる場合の有無。					☐	☒	
場所	範囲	面積	使用条件・復旧方法		備考		

4.公害関係

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書
1 公害防止のため、施工方法、機械設備、作業時間等に制限がある場合 ① 特定の工種について、施工方法、機械施設、施工時間の指定の有無。 ② 騒音、振動等測定の設定の有無。 ③ 公害に関する特定地域指定の有無。 ④ 地元対策上や法改正等により規制処置が必要となった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象 有 ☐ ☒ ☒ ☒	対象 無 ☒ ☐ ☐ ☐	
対象工種	範囲または測定場所	時期	内容		備考		
全て	施工全区域		第3種騒音規制区域				
2 水替、流入防止施設が必要な場合 ① 施設の有無。（対象工種、規模、範囲、期間等） ② 当初の計画と現場の条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象 有 ☐ ☒	対象 無 ☒ ☐	
対象工種	規模	範囲	排水時間	期間	備考		
3 濁水、湧水等の処理で特別な対策を必要とする場合 ① 濁水、湧水等の処理で特別な対策の有無。 ② 当初の条件と状況が異なった場合は監督員に報告し協議すること。					対象 有 ☐ ☒	対象 無 ☒ ☐	
対象工種	時期	処理施設	排水の水質目標値	排水場所	備考		
4 事業損失等、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合 ① 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失の懸念の有無。 （事前・事後調査の区分と、その調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等） ② 発注段階では具体的に明示できない場合や当初と状況が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象 有 ☐ ☒	対象 無 ☒ ☐	
懸念事項	事前・事後	調査時期	調査範囲・対象件数	調査方法	報告書の有無	備考	
5 油漏れ等に対策を必要とする場合 ① 油漏れや重金属等の対策の有無。 ② 当初の条件と状況が異なった場合は監督員に報告し協議すること。					対象 有 ☐ ☒	対象 無 ☒ ☐	
対象工種	対象機械	時期	実施方法・必要資材		備考		

5. 安全対策関係（１）

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書
					対象 有	対象 無	
1 交通安全施設等の指定							
① 車線減少等の規制の有無。（その内容と期間）					☒	☐	
② 歩道通行帯の確保の有無。（路面状況等その内容と期間）					☐	☒	
③ 夜間作業の有無。（その内容と期間）					☐	☒	
④ 現場特有の理由での交通規制方法の限定の有無。（その内容）					☐	☒	
⑤ 当初計画と実際の現場条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					☒	☐	
交通安全施設等	工種	設置期間	内容		備考		
規制看板等	全工程	工事期間中	昼間施工				
2 電気・ガス・電話施設等と近接する工事					対象 有	対象 無	
① 近接する工事での施工法、作業時間等の制約の有無。							
電気					☐	☒	
ガス					☐	☒	
電話					☐	☒	
上水道					☒	☐	
下水道					☒	☐	
鉄道					☐	☒	
医療施設					☐	☒	
学校施設					☐	☒	
文化財					☐	☒	
その他（ ）					☐	☒	
② 当初計画と実際の現場条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					☒	☐	
近接施設	管理者	協議状況	内容	立会条件	備考		
水道管	日向市水道課			不明管発見	台帳確認		
下水道管	日向市下水道課						
3 落石・土砂崩壊等危険要因に対する防護施設等					対象 有	対象 無	
① 防護施設の有無。（その内容）							
落石					☐	☒	
土砂崩壊					☐	☒	
土石流					☐	☒	
補強が必要な既存構造物					☐	☒	
② 当初計画と実際の現場条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					☐	☒	
危険要因	工種	防護施設	内容・規格	期間	備考		

5. 安全対策関係（２）

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書
					対象 有	対象 無	
4 保全設備・保安要員の配置等 ① 交通誘導員、保全設備、保安要員の配置の指定の有無。 交通誘導員 A、B 保全設備 保安要員 鉄道工事管理者 ☒ ☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ② 当初計画と実際の現場条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。							
保全設備・保安要員	工種	場所	期間・時間	員数・規格	交代要員	備考	
規制看板等	全工種		当該工事施工時				
5 発破作業等の制限 ① 発破作業等の制限の有無。 交通誘導員 保全設備 保安要員 その他 ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☒ ☒ ② 当初計画と実際の現場条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。							
制限作業	工種	場所	期間・時間	内容		備考	
6 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策 ① 換気設備等の有無。 換気設備等 危険防止対策の工法・設備 ☐ ☐ ☒ ☒ ② 当初計画と実際の現場条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。							
危険要因	工種	危険防止対策の工法内容、設備の規格・規模			備考		
7 高所作業における対策 ① 高所作業における落下・墜落等対策の有無。 ☐ ☐ ☒ ☒ ② 当初計画と実際の現場条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。							
工種	場所	対策の内容、設備の規格・規模			備考		

6. 工事用道路関係（１）

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書
1 一般道路を搬入路として使用する場合 ① 運搬経路に制限がある場合の経路指定の有無。（その内容） ② 搬入路の使用後及び使用後に配慮すべき処置及び対応の有無。（その内容） ③ 地元対策上特に特記すべき事項の有無。（その内容） ④ 現場状況等から使用条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象 有	対象 無	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
経路	期間	時間帯	制限内容			備考	
①							
①							
区間	期間	処置・対応内容				備考	
②							
②							
特定資材・機材名	搬入経路	期間	時間	対応・配慮内容		備考	
③							
③							
2 仮道路を設置する場合 ① 仮道路構造等の指定の有無。 ② 借地により仮道路を設ける場合の借地料負担の有無。 ③ 維持補修の有無。 ④ 仮道路の安全施設設置の有無。 ⑤ 工事終了後の撤去の有無。（その内容） ⑥ 地元対策上特に特記すべき事項の有無。（その内容） ⑦ 現場状況等から設置条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象 有	対象 無	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	
区間	幅員	延長	構造	その他仕様	備考		
①							
①							
区間	借地料負担金額	維持補修内容	維持補修の時期および頻度			備考	
②③							
②③							
区間	安全施設設置期間	安全施設内容				備考	
③							
③							
区間	存置・撤去	運搬場所	運搬数量	使用後の処置	備考		
⑤							
⑤							
特定資材・機材名	搬入経路	期間	時間	対応・配慮内容		備考	
⑥							
⑥							

6. 工事用道路関係（２）

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書
3 一般道路を交通規制等により占用する場合 ① 交通規制を行う場合は、事前に関係機関と協議すること。 ② 交通規制による占用の有無。（その内容） ③ 現場状況等から占用条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象 有 ☒	対象 無 ☐	
区間	協議機関	期間	時間	規制内容	備考		
全区間	日向市建設課	施工前					
全区間	日向警察署	施工前					
4 他の工事と工事用道路を共用する場合 ① 他の工事と工事用道路を共用の有無。（工事用道路の管理者の明記と内容） ② 維持補修の有無。（その内容） ③ 現場状況等から使用条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象 有 ☐	対象 無 ☒	
工事用道路の管理者	区間	共用する工事名	期間	配慮事項	備考		
5 工事用道路の使用に制限がある場合 ① 搬入路の幅員、高さ等による資機材の搬出入時の制約や規制の有無。					対象 有 ☐	対象 無 ☒	
区間	期間	時間帯	制限内容		備考		

7. 仮設備関係

明 示 事 項						対象の有無		特記仕様書
						対象 有	対象 無	
1 他の工事に引き渡す場合								
① 引き渡しの有無。（その内容、時期、条件等）						☐	☒	
② 引き渡しにあたっての、構造等安全性の確認、検査等の有無。 （その実施日時、内容等）						☐	☒	
③ 現場状況等から他の工事に引渡しする条件等異なった場合は、監督員に報告し協議すること。						☐	☒	
仮設物の名称	施工者	撤去・損料負担者	引き渡し時期	維持管理等条件		備考		
①								
①								
仮設物の名称	確認・検査内容		検査日時	条件等		備考		
②								
②								
2 引き継いで使用する場合								
① 引き継ぎの有無。（その内容、時期、条件等）						☐	☒	
② 引き継ぎにあたって、構造等安全性の確認を行い疑義等が生じた場合は、すみやかに監督員に報告し協議すること。						☐	☒	
仮設物の名称	前・施工者	引き継ぎ確認事項	引き継ぎ時期	条件		備考		
3 構造及び施工方法を指定する場合								
① 指定の有無。（存置期間、規模、使用材料、規格、数量）						☐	☒	
② 現場状況等から施工条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。						☐	☒	
仮設物の名称	存置期間	規模	使用材料	規格	数量	施工方法	備考	
4 設計条件を指定する場合								
① 技術上の必要性からの設計条件の指定の有無。（その条件内容） （仮締切の設計水位等が該当するほか、地元協議等に基づき設計条件を指定する場合）						☐	☒	
② 工事車両を対象とした仮橋、う回路等は幅員・構造の設計条件。						☐	☒	
③ 現場状況等から設計条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。						☐	☒	
④ 指定仮設で建設物価等は無掲載の資材の使用。						☐	☒	
仮設物の名称	設計条件						備考	

8. 建設副産物関係（１）

明 示 事 項						対象の有無		特記仕様書
						対象 有	対象 無	
1 建設発生土 ① 工事現場から50kmの範囲内にある発生土を利用する他の建設工事に搬出する。 ② 当初発注時に処分先が確定できない場合は、決定した後に設計変更対象とする。 ③ 処分先で土の種類等の詳細な条件の有無。（その内容） ④ 夜間時受入れが出来ない場合など仮置きの有無。（その内容）						☐ ☒ ☐ ☐ 	☒ ☐ ☒ ☒ 	
種別	自由・指定	運搬量	運搬距離	運搬先	処分・保管の条件	備考		
現場発生土								
2 建設廃棄物の種類と発生量 ① 取扱及び処理方法の違う種別毎の廃棄物。 特定建設資材廃棄物 その他の産業廃棄物 特別管理産業廃棄物						☒ ☒ ☐ ☐ 	☐ ☐ ☒ ☒ 	
種別	種類		工種	発生量	備考			
アスファルト殻	アスファルト舗装片		舗装版破砕					
コンクリート殻	無筋		舗装版破砕					
コンクリート殻	鉄筋		既設側溝取り壊し					
3 現場内での発生抑制・減量化・再利用の内容 ① 建設リサイクルガイドライン [※] 等により、計画・設計段階から施工段階における現場内での発生抑制等の具体的な実施事項の明示。 ② 仮置きの有無。（その内容）						☐ ☐ 	☒ ☒ 	
種類	発生抑制	減量化	再利用	備考				
4 処理施設等への運搬経路・方法等の規制・制限 ① 処理施設等への受入時間等の条件の有無。（その内容） ② 仮置きの有無。（その内容）						☐ ☐ 	☒ ☒ 	
種類	運搬経路	運搬方法	性状及び荷姿等	備考				

※ 建設リサイクルガイドライン（平成14年5月30日 国土交通省）

8. 建設副産物関係（2）

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書
5 再資源化処理施設、中間・最終処理場の指定等 ① 指定副産物は、指定した再資源化施設へ搬出する。 ② 建設発生木材の再資源化施設がない場合等、縮減施設への搬入の有無。 ③ 夜間時受入れが出来ない場合など仮置きの有無。（その内容）					対象 有 ☐	対象 無 ☒	
種類	再資源化処理施設	中間処理場	最終処理場	受入時間	処理税の有無	備考	
6 再生資材等の利用 ① リサイクル原則化ルール*等に従い、再生資材や建設発生土を利用すること。 再生骨材等 再生加熱アスファルト混合物 建設発生土 グリーン購入法環境物品 ※再生資材の利用					対象 有 ☒	対象 無 ☐	
再生資材名	規格	使用箇所	再資源化処理施設	備考			
再生Cr	RC-40	施工全区域	指定施設無し				
※他の工事現場からの建設発生土の利用							
発生土の種類	発注機関	工事名	発生場所	施工会社・連絡先	備考		

※ 公共工事における「リサイクル原則化ルール」の策定について(平成)18年6月12日国管技第47号ほか)

9. 工事支障物件等

明 示 事 項						対象の有無		特記仕様書
1 占用物件等の工事支障物件						対象 有	対象 無	
① 工事区域内に移設・撤去又は防護を要する工事支障物件の有無。 (移設時期、工事の方法、防護の要否等)								
電柱						☐	☒	
上下水道						☐	☒	
電話ケーブル						☐	☒	
ガス管						☐	☒	
架空電線						☐	☒	
標識・看板						☐	☒	
その他（信号機）						☐	☒	
② 工事区域外の工事施工における防護等の有無。（その内容）						☐	☒	
③ 企業者との協議段階で、当初の明示内容に変更が生じた場合は、監督員に報告し協議すること。						☐	☒	
④ 占用物件の撤去の別工事発注の有無。（企業者と工期、位置）						☐	☒	
支障物件名	管理者名	位置	企業者との協議	移設時期	工事方法（内容）	立会	備考	
2 占用物件工事との重複施工						対象 有	対象 無	
① 占用物件工事と重複施工の有無。（工事主体、工事期間、位置関係等）								
電柱						☐	☒	
上下水道						☐	☒	
電話ケーブル						☐	☒	
ガス管						☐	☒	
架空電線						☐	☒	
標識・看板						☐	☒	
その他（信号機）						☐	☒	
② 請負者が占用企業者と協議の有無。						☐	☒	
③ 占用工事の工程による当該工事の着手時期や完了時期への影響の有無。 (その対応)						☐	☒	
④ 現場状況等から施工条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。						☐	☒	
占用物件名	占用物件管理者	施工者	重複する工種	工事期間	位置関係	協議内容	備考	
占用物件名	工程に影響する工種	影響する期間	対応内容				備考	

10. 薬液注入関係

明 示 事 項							対象の有無		特記仕様書
							対象 有	対象 無	
1 薬液注入を行う場合									
① 薬液注入工法の設計条件。（発注前の土質・地下埋設物・地下水位調査等）、 工法区分、材料種類、施工範囲、削孔数量・延長、および注入量・圧等）							☐	☒	
② 施工計画打合せ時等に施工業者から提出する事項。							☐	☒	
③ 材料搬入時・注入時の施工管理方法、注入の管理・注入の効果の確認方法。							☐	☒	
④ 産業廃棄物が発生した場合の処分方法。							☐	☒	
⑤ 地下埋設物がある場合の防護方法。							☐	☒	
⑥ 現場状況等から施工条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。							☐	☒	
土質柱状図	土の透水性	物理試験	力学試験	地下埋設物名	埋設物位置	埋設物構造	井戸の位置	井戸の使用状況	
①									
①									
公共用水域等	工法区分	材料種類	施工範囲	削孔数量	削孔延長	注入数量	注入圧	備考	
①									
①									
注入順序	注入速度	注入圧	ステップ長	材料	ゲルタイム	配合	その他	備考	
②									
②									
材料搬入時の管理方法		注入時の管理方法			注入管理・効果の確認方法		備考		
③									
③									
産業廃棄物の処理方法				地下埋設物がある場合の防護方法				備考	
④				⑤					
④				⑤					
2 周辺環境影響調査							対象 有	対象 無	
① 周辺環境の調査の有無。（その内容）							☐	☒	
② 現場状況等から調査項目が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。							☐	☒	
調査項目	採取地点	採取回数（着手前・工事中・工事終了後）				試験依頼先	備考		

11. その他（１）

明 示 事 項						対象の有無		特記仕様書
						対象 有	対象 無	
1 工事用資機材の保管及び仮置きが必要な場合 ① 資機材の種類、数量、保管・仮置き場所、期間、保管方法等。 ② 積み込み、運搬方法等。 ③ 機械の分解、組立、運搬がある場合はその回数。 ④ 現場状況等から使用条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。						☐ 	☒ 	
種類	数量	保管・仮置き場所	期間	保管方法	積込・運搬方法	備考		
2 工事現場発生品がある場合 ① 品名、数量、再使用の有無、引き渡し場所等。 ② 品質検査の要否、処理方法、運搬方法等。						☐ 	☒ 	
品名	数量	再使用	引渡し場所	引渡し時期	品質検査	運搬方法・費用	備考	
3 支給材料及び貸与品がある場合 ① 品名、数量、品質、規格又は性能、引き渡し場所、引き渡し時期等。 ② 使用目的、有償・無償の別、返納方法、返納場所等。 ③ 支給材料及び貸与品の修理等の有無。 ④ 現場状況等から使用条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。						☐ 	☒ 	
品名	数量	規格・性能	引き渡し場所	使用目的	有償・無償	返納方法・場所	備考	
4 関係機関との近接協議 ① 関係機関・自治体等の名称、協議の内容・条件等。 ② 現場状況等から施工条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。						☐ 	☒ 	
関係機関等の名称	協議内容			対象工種・部分名	期間	備考		
5 架設工法を指定する場合 ① 架設の施工方法、施工条件等を明示する。 ② 現場状況等から施工条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。						☐ 	☒ 	
施工方法	施工条件			施工時期	備考			

11. その他（２）

明 示 事 項					対象の有無		特記仕様書	
6 新技術・新工法・特許工法を指定する場合 ① 新技術・新工法・特許工法の指定の有無。（その内容） ② 現場状況等から施工条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象	有		対象
					☐		☒	
					☐		☒	
工法名称	施工場所	採用理由	施工条件	特許所有者・NETIS番号	備考			
7 部分使用を行う場合 ① 使用箇所、使用期間等。 ② 現場状況等から使用条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象	有	対象	無
					☐		☒	
					☐		☒	
使用箇所	使用条件		使用期間		備考			
8 給水の必要のある場合 ① 給水の有無。（関係機関との協議の時期・内容・条件・取水箇所、方法等） ② 現場状況等から給水条件が異なった場合は、監督員に報告し協議すること。					対象	有	対象	無
					☐		☒	
					☐		☒	
関係機関名	協議時期	取水箇所	取水時期	方法	備考			
9 現場の状況等から止むを得ず工事が休止状態となった場合 ① 現場の状況等から、止むを得ず工事が休止状態となった場合は、休止に伴う処置について監督員と協議の上、すみやかに「工事中止」等の処置をとる場合があること。					対象	有	対象	無
					☐		☒	
10 特殊材料や特定使用材料がある場合 ① 特殊材料や特定使用材料の有無。（品質・性能・使用等）					対象	有	対象	無
					☐		☒	
特殊材料	対象工種	品質・性能		使用条件	備考			
11 工事連携会議の設置が必要な場合 ① 工事連携会議の実施の有無。（時期・頻度等）					対象	有	対象	無
					☐		☒	
工事連携会議実施の有無	時期		頻度		備考			
12 見積参考資料の明示 ① 参考資料の一つとして見積参考資料を作成し明示する。					対象	有	対象	無
					☐		☒	